

高雄だより臨時号

平成 27 年 3 月 5 日
京都市立高雄小学校
校長 出口 信行

公開URL http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/data/111300/
モバイルURL http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index-i.php?id=111300

平成 26 年度 後期学校評価結果について

心豊かに自ら学び 高雄の次代を拓く たくましい子どもの育成をめざして

高雄小学校の学校評価は、学校教育目標と教育の指針に基づいて、ご家庭と連携を図り、児童の学びと育ちを実現できているかを考察し、今後の取組について具体的な方向を見出すために、それぞれのアンケートを参考にさせていただきました。

はじめに

今年度、高雄小学校では、特に言語活動の充実に力を注いでまいりました。すべての教科・領域で、子ども同士が互いの考えをグループや全体で話し合う活動を積極的に取り入れたり、学習してわかったことをリーフレットや新聞などにまとめたりする活動も取り入れてまいりました。また、図書館教育との連動を企図し、調べて考えることができる「情報センター」としての図書室、自分の読書の幅を広げる「読書センター」としての図書室を実現できるようにしてきました。そのことにより、子どもたち自身が「楽しい」と感じ、意欲的に学習に取り組めるようにしてきました。また、学校行事や児童会を多彩に行い、児童が楽しく学校教育目標に向かえるように取り組んできました。このような取組を通して、これから子どもたちが歩んでいく社会で生きて働く力を育ててきました。その私たちの取組を見直し、点検するチャンスとして、子どもたちのアンケートや保護者の皆様のアンケート・教職員のアンケートを分析しました。

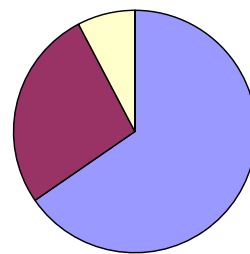
① 家庭学習 予習し、進んで学習する子

家庭学習の様子についての子どもたちのアンケート結果は右の通りです。子どもたちは、学習すべき課題について、ほとんどの子どもたちが「忘れずに」している様子がうかがえます。また、「宿題のほかにも、やりたい学習や自分に必要な勉強に取り組んでいる」という問いに対しては、よくできていると回答している子が、前期より増えてきています。(高学年 50%→54% 低学年 45.2%→51.6%)これは、学習予定表を見直して家庭でも自主的に学習できるように働きかけたり、土曜学習などで学習できる場を保証したりしてきた成果が表れ始めたと考えられます。

保護者アンケートからは、保護者の皆さんが家庭学習を大切に考えてくださっている様子がうかがえます。しかしながら、家庭学習に関わろうとしてもお仕事の都合などで実現しにくい様子や、自主学習に適切にアドバイスできにくい様子もうかがえます。どのようにすれば、子どもたちが自分から進んで楽しく学習に取り組めるのでしょうか。今年度、子どもたちが取り組んだ自主学習の様子から考察してみました。

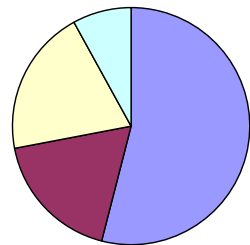
高学年

宿題は忘れずにしている。



- よく出来ている
- 出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

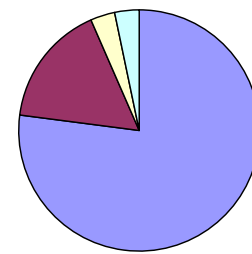
宿題のほかにも、やりたい学習や自分に必要な勉強に取り組んでいる。



- よく出来ている
- 出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

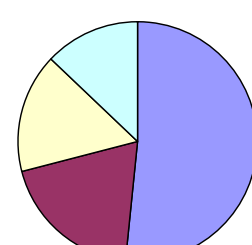
低学年

しゅくだいは わすれずに している。



- よくできている
- だいたいできている
- あまりできていない
- できていない

しゅくだいの ほかにも、じぶんの やりたい べんきょうを している。

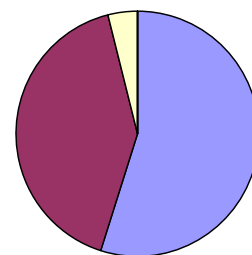


- よくできている
- だいたいできている
- あまりできていない
- できていない

保護者

【重要度】

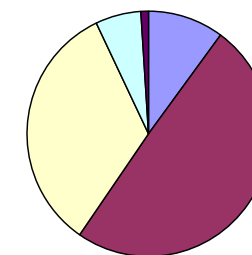
家庭で、子どもの学習の様子と一緒に見ている。



- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

【実現度】

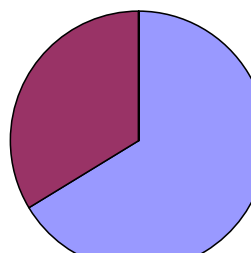
家庭で、子どもの学習の様子と一緒に見ている。



- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

【重要度】

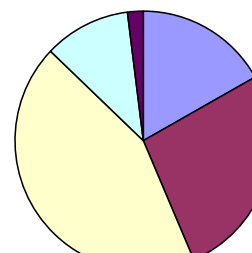
子どもは、宿題以外に、やりたい学習や自分に必要な勉強に取り組んでいる。



- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

【実現度】

子どもは、宿題以外に、やりたい学習や自分に必要な勉強に取り組んでいる。



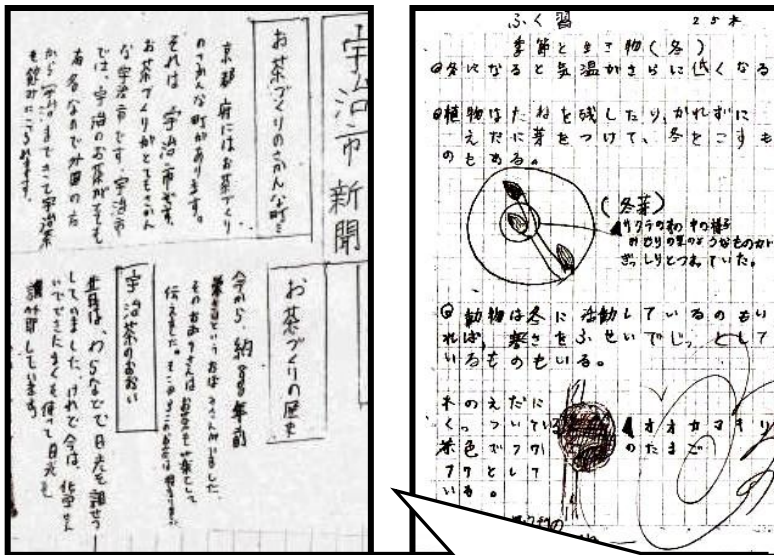
- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

子どもたちの自主的な学習を促すために

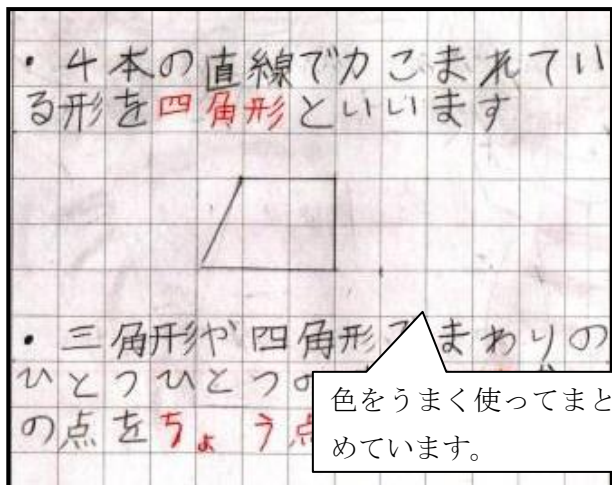
○ 子どもたちの探究心をかき立てるような学習を

「勉強しなさい」と言わなくても、子どもたちが自分から学習に取り組めるようになれば、これにこしたことはないですね。私たちが授業するときにも、「子どもたちがどうしても解き明かしたくなるような学習問題」や「何としても達成したくなるめあて」を設定することに力を注ぎます。子どもたちが意欲的に動き出せば、集中力をまし、簡単なアドバイスをするだけで学習がどんどん進んでいくからです。それがうまくいった時には、私たち大人の予想をはるかに上回るような学習成果を上げることができます。

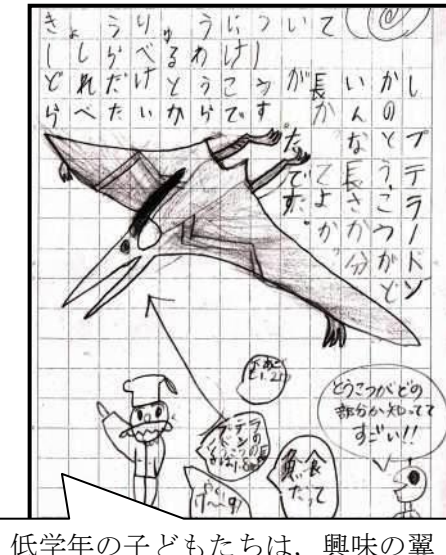
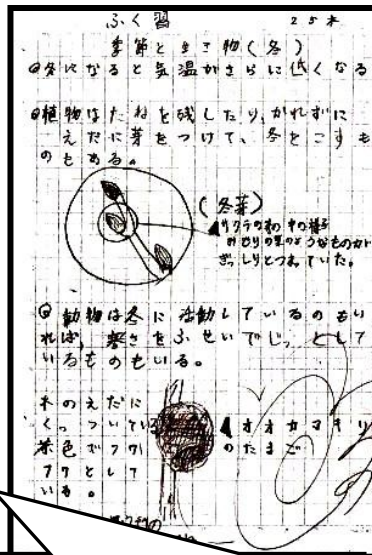
子ども達が調べたいことをはっきりさせて、自主的に学習してきたものをいくつか紹介したいと思います。ご家庭で、家庭学習についてアドバイスしていただく参考にさせていただくとありがたいです。



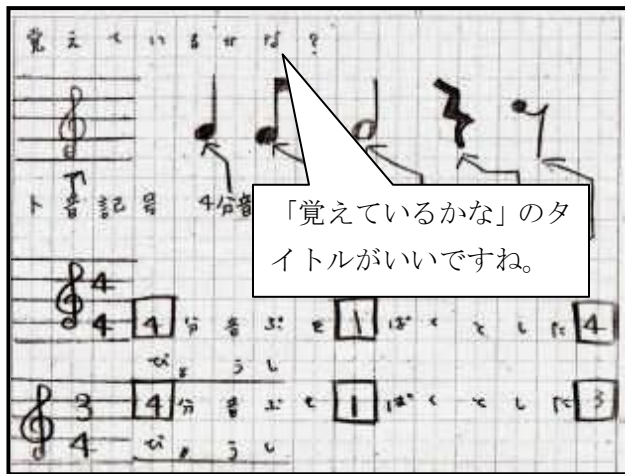
社会科や理科で、学習して関心を持ったことをノートにまとめています。学校の学習を糸口に、自分なりに深めたり広げたりしているのがいいですね。



色をうまく使ってまとめています。



低学年の子どもたちは、興味の翼をどんどん広げていきます。恐竜について調べたわけや感想を書いているのがいいですね。



「覚えてるかな」のタイトルがいいですね。

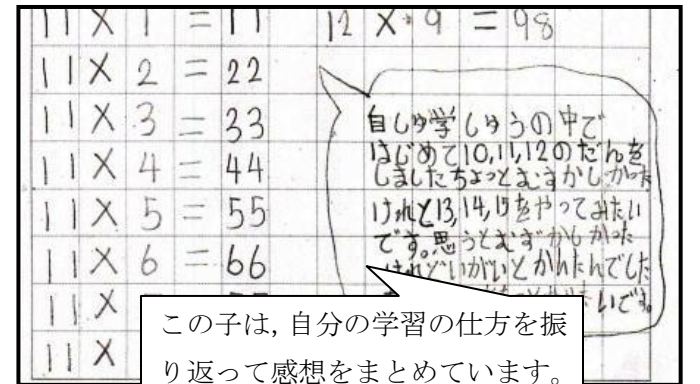
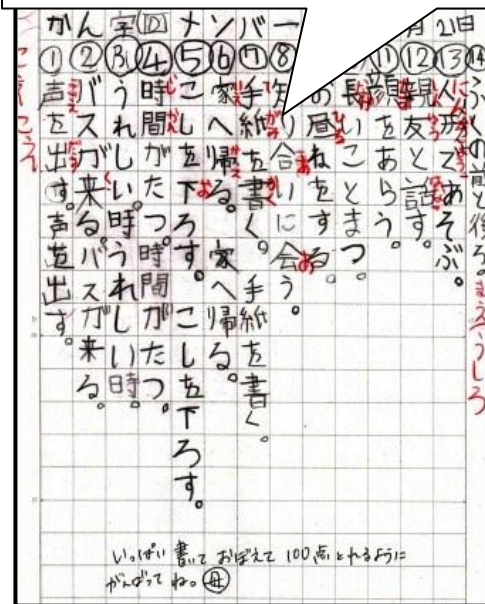
○ スキル学習(繰り返し学習)もちょっとした工夫で

ほめて、認めて、声をかけて

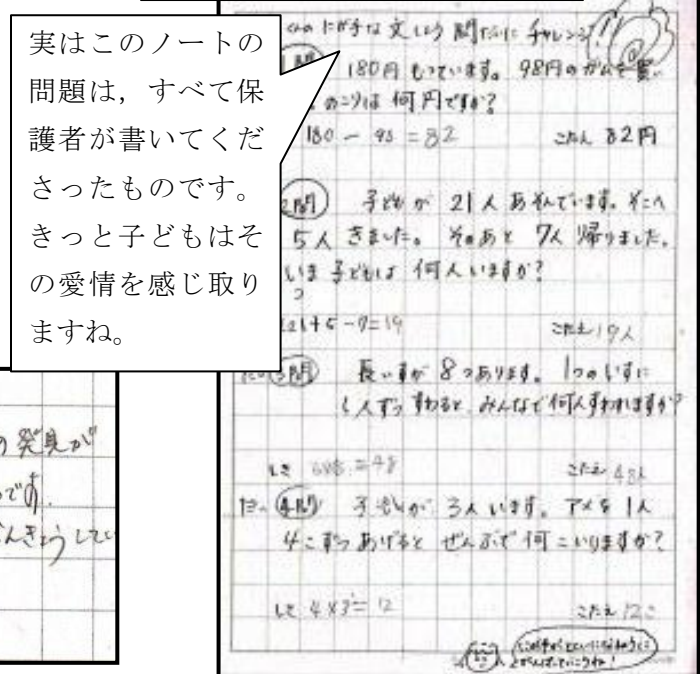
学校で学習したことをしっかり定着できるようにするには、やはり繰り返し練習することが必要です。漢字を覚えるにも、計算の仕方を身に付けるにもスキル学習が必要です。ところが、子どもたちはこの学習が一番苦手です。そこで、私たちも、プリントの作り方を工夫したり、時にはコンピュータを使ったりして、なんとか子どもたちがうまくスキル学習に取り組めるように工夫しています。

子どもたちが自主的に取り組んでいるスキル学習の様子をいくつか紹介します。スキルは繰り返しが必要なだけに、時に単調で退屈になりがちですが、自分の能力が向上したことがわかると、スキル学習にも楽しく取り組みます。そこで大切なのが、大人が「ほめること」「認めること」「声をかけること」です。そのような大人の取組が、子どもの力を伸ばしていきます。

子どものノートに一言書き添えていただいています。「頑張っている様子をちゃんと見てるで」というメッセージは、きっと子どもの心に響きます。



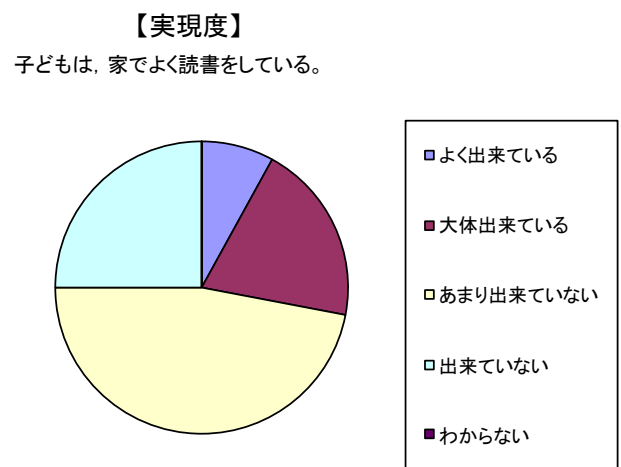
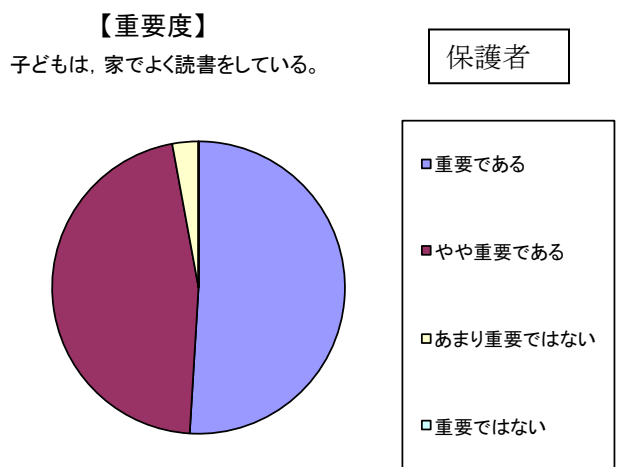
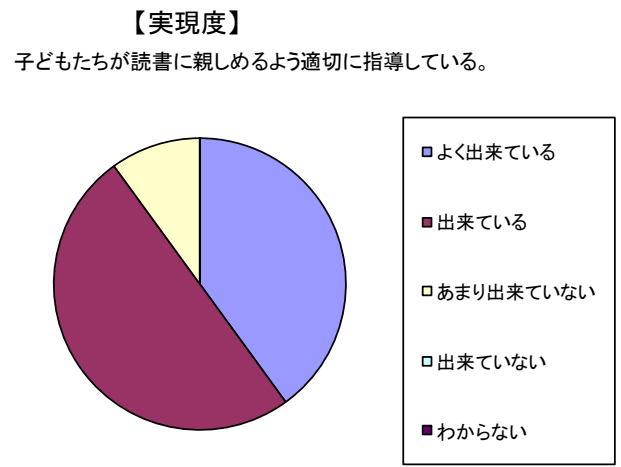
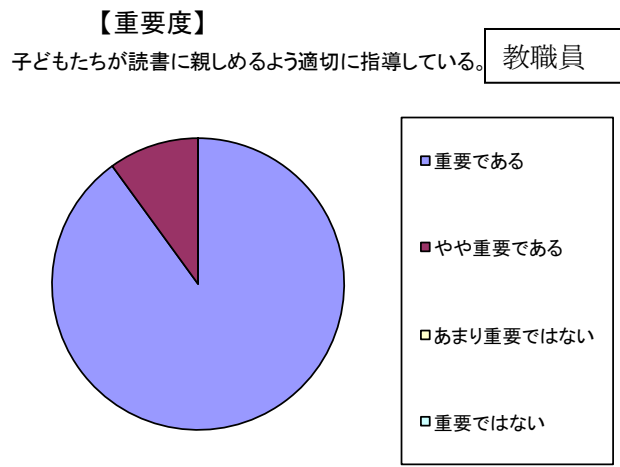
この子は、自分の学習の仕方を振り返って感想をまとめています。次の学習に生かさせますね。



実はこのノートの問題は、すべて保護者が書いてくださったものです。きっと子どもはその愛情を感じ取りますね。

○ 図書館の利用を

今年度、私たちは、様々な教科・領域の中で子どもたちが進んで図書館を利用できるように働きかけてきました。子どもたちが様々な情報を得て考える力を伸ばすためにも、読書を通して心を育てるためにも、読書は重要な役割を果たします。そのことは、私たちも保護者の皆さんも理解しており、読書についての重要度を問うと 100 パーセントの方が「重要である」「やや重要である」と回答を寄せていただいています。しかし、実現度はのほうは、期待とは裏腹のようで、保護者の皆さんからお子達を見られて、70 パーセント以上が「あまりできていない」「できていない」という回答となっています。



子どもたちを本に向かわせるためには、大人の働きかけが重要になってきます。学校で、朝の読書の時間を確保しているように、家のテレビやゲームのスイッチを消して、親子で読書する時間を確保してはどうでしょう。「読みなさい」と促さなくても、家族みんなが読書する時間を共有できたら、子どもたちの意識は変わりますね。また、時には、公共図書館や書店に足を運ぶこともよいのではないのでしょうか。そうした私たち大人の働きかけの中で、子どもが本を好きになるきっかけを見つけてくれるようにしていきたいですね。

<学校の図書館教育の様子>



国語の学習の中で、教科書に出てくる教材にとどまらず、自分が選んだ本を教材に学習を進めています。子どもがいつでも本を手にとれるよう、教室にも本を置いています。



図書支援員の先生や地域の方をお招きして、ブックトークや読み聞かせをしています。土曜学習でも読書教室として実施しています。



高雄小学校の自慢の取組の一つ「たてわり読書」です。高学年の子どもたちが、他学年の子どもたちに読書の楽しさを伝えています。



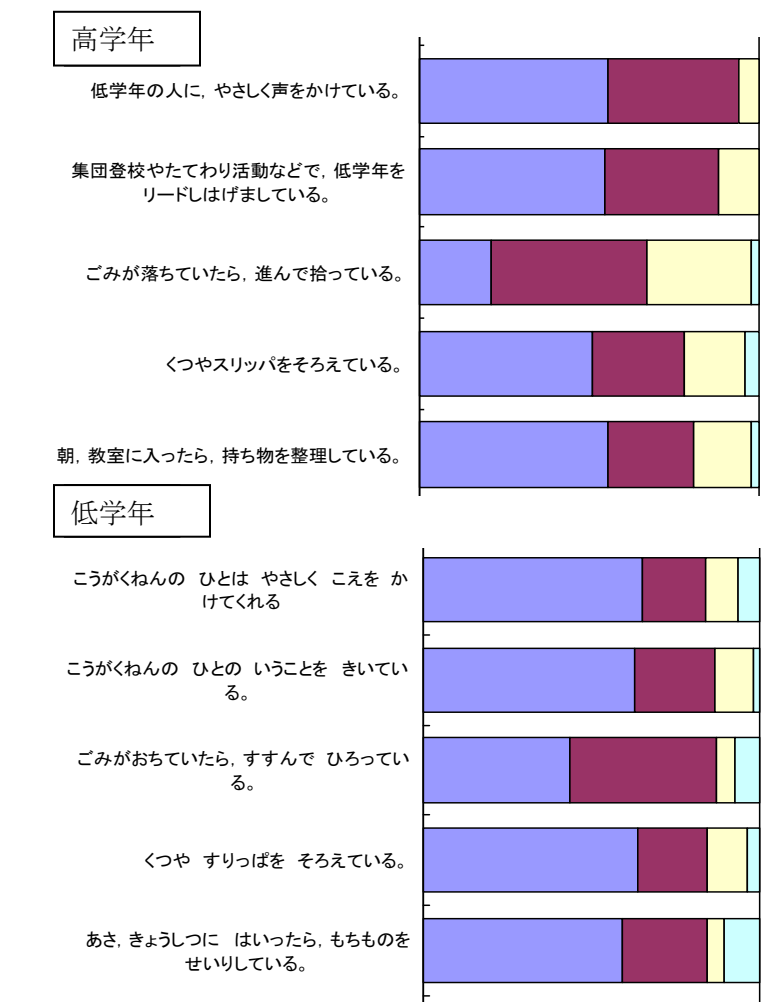
図書室には、楽しい掲示物がいっぱいあります。子どもの調べ学習のノートや、その学習に役立つ本も紹介しています。



② 相手を思いやる気持ち・コミュニケーションする力

くつをそろえる子 明るくあいさつする子 「はい」と返事する子

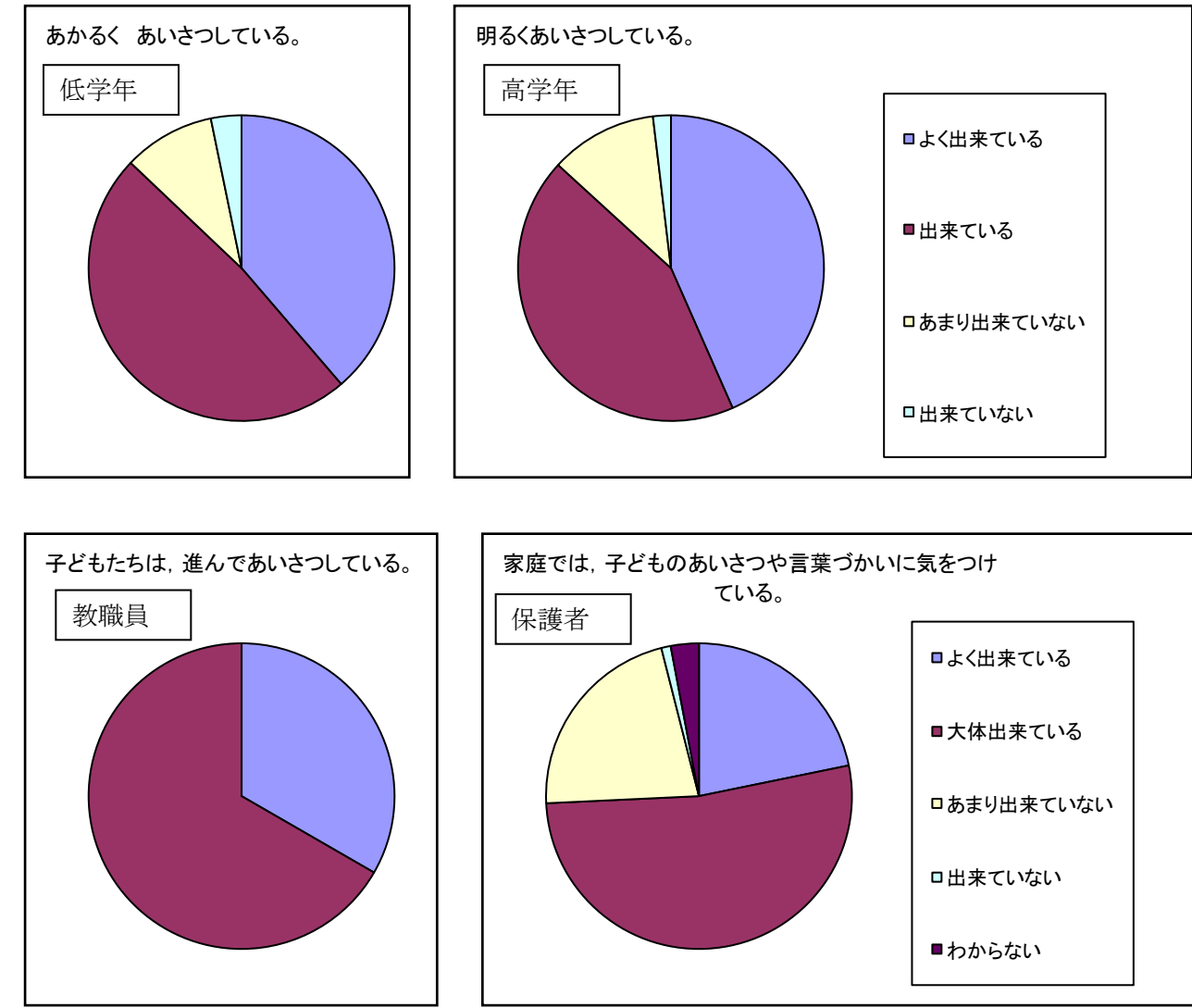
高雄小学校では、今年も、道徳教育に力を入れてきました。道徳の時間だけでなく、あらゆる教科領域の中で、子どもたちが自分の行動を見直し、よりよく暮らしていくにはどうすればよいかを考えるようにしてきました。そのことを通して、子どもたちの心に道徳的実践力の基礎を培ってきました。実際の生活場面で、その実践力が生かされることを願って取組を進めています。そこでいくつかの生活場面で、子どもたちがどのような行動をしているのか探ってみました。



左のグラフの中で、特徴的に表れているのは「低学年の人にやさしく声をかける」「高学年の人の言うことを聞いている」「リードしはげましている」などの、個と集団とのかかわりについては、「出来ている」「おおよそできている」と回答している子が多いことです。これは、高雄小学校の良さを表しているように思います。高雄小学校では、日頃の集団登校を始め、様々なたてわり活動をととても大切にしています。その中で、子どもたちに仲間を大切にする意識を育て、仲間と一緒にやり遂げた充実感を味わってほしいと願っているからです。その活動を通して、子どもたちはリーダー性も、他を思いやる優しさも身に付けています。学級の中では見られない姿が、たてわり活動の中で見られたりするのは、そのような力を活動を通して身に付けているからです。そのことは、保護者の皆さんもよく知っておられるようで、下図のとおり、たてわり活動についての重要度も実現度も高い数値を示しています。

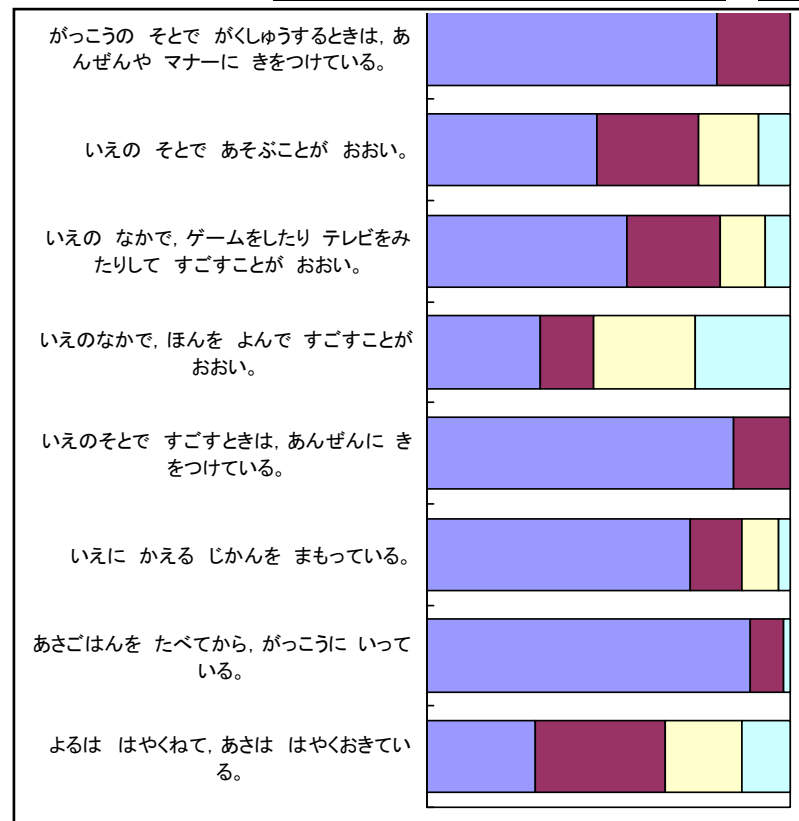
学校は、たてわり活動を通して、子ども同士の人間関係を深めている。	重要である 68.2%	やや重要である 31.8%	あまり重要ではない 0.0%	重要ではない 0.0%	よくできている 41.1%	大体出ている 49.5%	あまりできていない 1.9%	出来ていない 0.0%	分からない 7.5%
----------------------------------	----------------	------------------	-------------------	----------------	------------------	-----------------	-------------------	----------------	---------------

しかしながら、「ごみが落ちていたら進んで拾っている」「くつやスリッパをそろえている」「朝教室に入ったら、持ち物を整理している」については、「あまりできていない」「できていない」という子が増えます。また、高雄小学校でずっと課題であるといわれ続けてきた「あいさつ」については、次のような結果が出ています。



これらの項目には実は共通点があります。それは、誰が見ていようといまいと、正しいことは進んで実行することが求められる項目なのです。つまり、学校や家庭で培われてきた道徳性が、実践に結びついているかが問われているのです。子どもたちは、ここに示した項目を実践することが望ましいことはちゃんとわかっています。でも、それを思い切って実践するにはまだ少しハードルがあるのだと考えられます。道徳性を高めるとは、単に温かい心を育てるにとどまらず、その暖かさを実践していく力をつけることではないかと思われます。私たちは「してはいけません」と子どもたちによく言います。今、この結果を見たとき、それにとどまらず、「このように行動することが必要なのですよ」ということを、子どもたちに範を示すことが私たちに求められているように思います。

③ 自分を守る 身体をきたえ元気に活動する子 安全に気をつけて行動する子



前期と同様に、子どもたちの健康や安全に関する項目をグラフ化してみました。

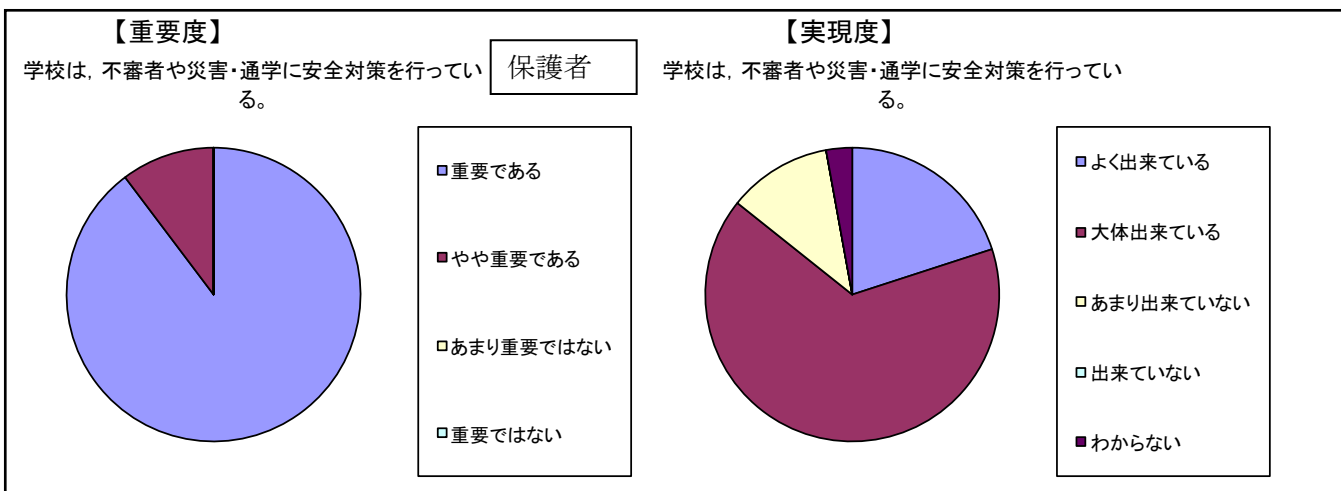
前期と同様に、「安全に気をつけている」という項目で、ほとんどの子どもたちが、「よくできている」「できている」と回答しています。これは、私たち大人が、安全についての意識を高く持ち、下校ボランティア・登校見守り活動・飛び出し坊やづくりなどの諸活動、日頃のご家庭で声掛けの結果ではないかと思えます。近日、交通安全感謝の会でボランティアの方々に感謝状をお渡ししますが、保護者の皆様・地域の皆様にも感謝状を贈りたい気持ちです。ありがとうございます。

しかしながら、子どもたちが安心して外で遊びにくい状況は変わっていません。「家の外で遊ぶことが多い」という項目に対して、低学年で 25 パーセント、高学年で 47 パーセントの子どもたちが「あまりできていない」「できていない」と回答しています。国道の交通量が多く、遊び場が確保できないという実態を変えることはなかなか難しいことです。

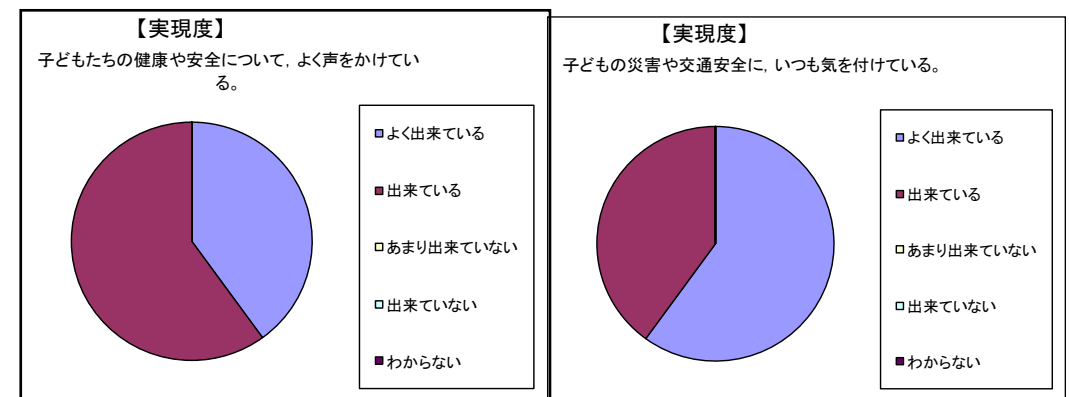
これまで、学校は、遊べる時間を確保しようと、他の学校よりも登校時間を早め、朝休みに

十分遊べるようにしてきました。しかしながら、保護者の皆様からも、また、教職員からも、放課後の時間を何とかできないかという声を聞いています。たとえ 30 分でも、一日学習を頑張った子どもたちが自分を開放し、思いっきり遊んだり、友だちや先生とゆっくり語り合ったりする時間が必要であると考えています。そこで、学校では、来年度以降、下校方法を見直し、安全を確保しながら時間を有効に使える方法を考えていきたいと思えます。

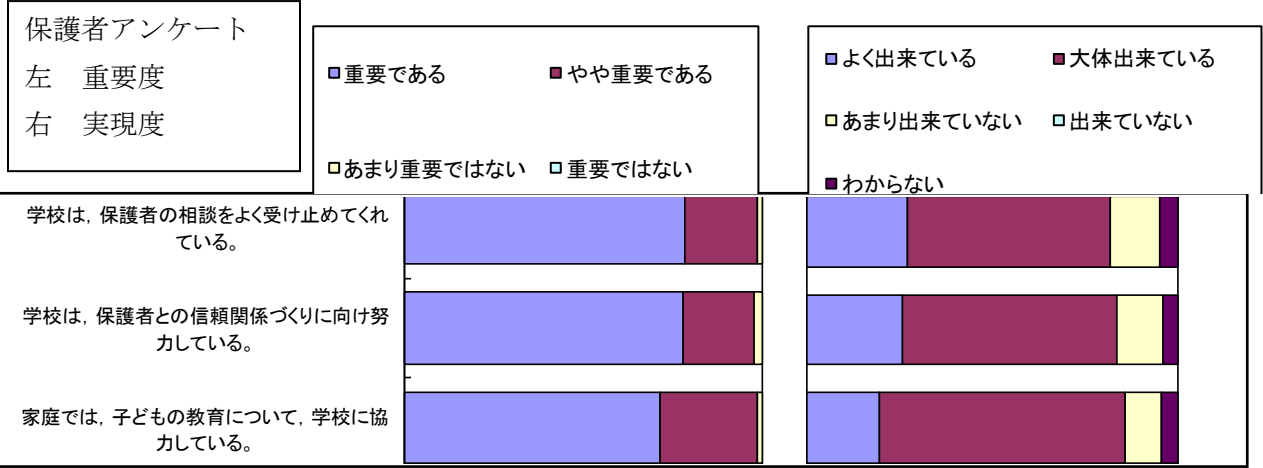
また、私たち教職員の安全に対する取組については、保護者の皆さんから、次のように、重要度にくらべて実現度が高くないというアンケート結果をいただきました。



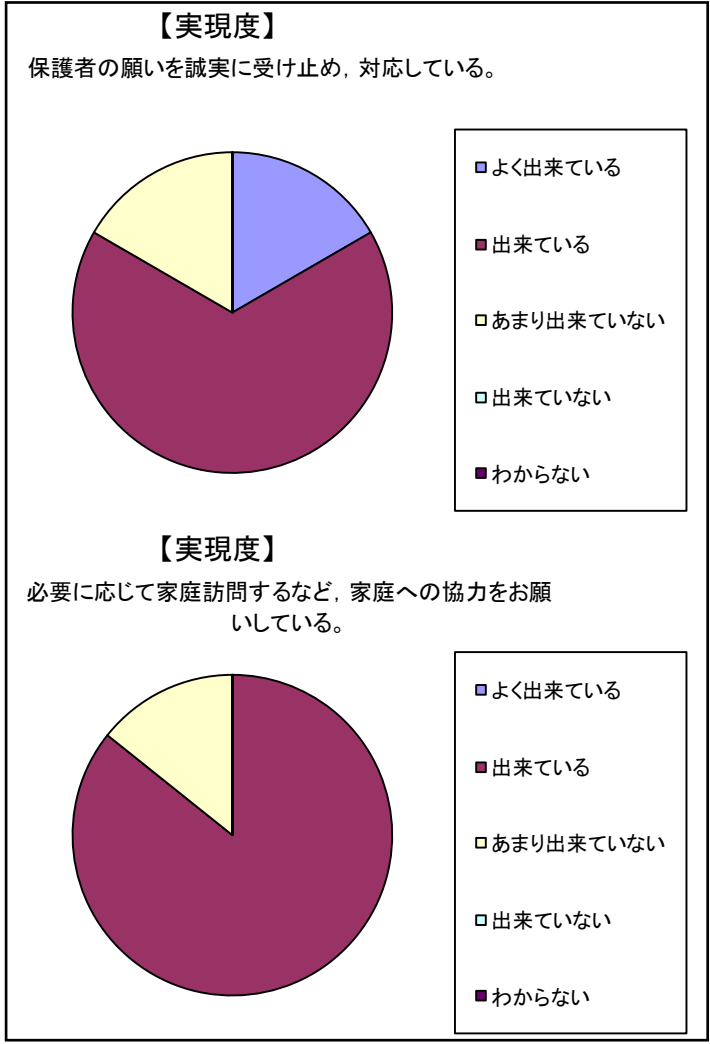
安全について、神経質になりすぎ、過度に取組を進めると学習や放課後の活動が狭められてしまいます。子どもたちを狙う犯罪が多くなり、登下校中の事故も報じられている中で、私たちはこのアンケート結果を真摯に受け止め、しっかりとした安全意識を持ち、それは、何か特別のことにするというのではなく、保護者の皆さんとともに、日頃の子どもたちへの取組や声掛けを大切にしていくことだと考えます。私たちは、子どもの安全や健康を脅かすようなことに会ったとき、それをみんなで共有するようにしています。そうすることで、教職員一人一人の意識が高まり、ひいては安全で健康的に過ごせる学校づくりができると考えるからです。下の二つのグラフは、教職員に健康や安全について問いかけたものです。両方のグラフが、「よくできている」でうめられるよう、さらに私たち自身の意識を高めていきたいと思えます。



④ 学校と家庭とのつながり



私たちの取組にとって、家庭との連携は欠かせません。どんな取組や声掛けをするにしても、家庭でも同じように取り組んでいただいたり、声をかけてくださったりすると、教育効果はいっそう上がります。



上のグラフは、保護者の皆様が学校についてどのようにお感じになっているかを示したものです。前期と比べて、まずいえることは、「できていない」という回答が0パーセントになったということです。また、どの項目についても、80パーセントから90パーセントの方が、「よくできている」「大体出来ている」と回答されています。それは、私たちにとってとてもうれしくありがたいことです。しかしながら、前期に比べると「よくできている」という割合が減り、「大体出来ている」という割合が増えていることもまた事実です。そこで、左の円グラフのように、教職員の家庭への取組についての項目を分析してみました。注目すべきは、家庭訪問について「できている」「あまりできていない」という回答しかないということです。子育てについて、家庭とのつながりを大切にしていこううえで、教職員が保護者と顔を合わせて、話し合うこ

とがとても大切になります。もちろん、連絡帳や電話だけで済むこともあるでしょうが、やはり、顔を合わせてお話をおうかがいすることが、保護者の皆さんの思いを受け止め、しっかりと理解することになると思います。そこで、できるだけ家庭訪問することを心がけてきました。しかしながら「よくできている」と答える教職員が少ないことを考えると、まだまだじつくりと保護者の皆さんとお話ししたいという願いがあるのだと考えられます。「来年度は懇談会を増やして、保護者とじっくり話す機会を増やしたい」という声も教職員から上がっています。高雄小学校は、人数の少ない小規模な学校ですが、保護者も教職員もみんながよく知って理解しあえる学校でありたいと願います。そうすることが、保護者の皆様が、「高雄小学校は保護者の相談をよく受け止め、信頼し合える学校だ」と評価してくださることにつながるのだと考えます。

⑤ 中学校との連携

	重要度				実現度				
問題文	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない

前期									
学校は、中学校と連携をとって、取組を進めている。	51.8%	34.8%	8.0%	5.4%	13.1%	42.1%	23.4%	0.0%	21.5%

後期									
学校は、中学校と連携をとって、取組を進めている。	45.7%	44.8%	8.6%	1.0%	17.3%	51.9%	15.4%	0.0%	15.4%

高雄小学校と高雄中学校は、施設を共用しているのみならず、様々な面でつながりを持って取り組んでまいりました。また、PTAも同一組織で、保護者の皆さんも、「小中9年間の学びの中で子どもを育てていく」という願いをお持ちのことと思います。そこで、小中連携が「重要である」「やや重要である」とお考えの方は、前期で85パーセント、後期で90パーセントを超えています。しかしながら、「よくできている」「できている」とお考えの方は、前期で55パーセント、後期で70パーセントにとどまっています。前期に比べて、よい評価をいただいているものの、やはり保護者の皆様の思いどおりの連携ができているとは言い難い様子です。

今年度は、小中で日常的に話し合う機会を多く持ったり、互いの授業を参観したりする機会を多く持ってきました。小中で一緒に取り組む前に、互いを知りあうことが大切だと考えたからです。確かに、小学校と中学校では取組に違いがあります。しかし、目指すところは9年間の学びを終えて、社会で活躍してくれる人間を育てることです。小中の取組の違いを認めつつ、理解しあい、目標に向かって心をつにして取り組んでいきたいと思います。現実には、なかなかうまくかみあわないこともあります。でも、小学生と中学生はとても仲が良く、バスの中で中学生が小学生に席を譲ったり、やさしく声を掛け合っていたりする温かい場面に出会います。その良さをさらに伸ばすためにも、小中の連携が必要です。

小学校と中学校の互いの良いところを生かし、これからも取組を進めていきたいと思います。保護者の皆様からもしろいろとご意見をいただきながら取り組んでまいります。どうぞお気づきのことは遠慮なくお伝えください。

⑥ 自由記述欄より

様々なお声をいただき、ありがとうございます。その中のごく一部ですが、皆様の声にお応えしたいと思います。

○ 学校ホームページに関すること

子どものことをよく理解していただき、子どもに合った対応をしてくださって大変感謝しています。学校のホームページいつも楽しみにしています。

子どもの学年によって、ブログに上げていただいているのが少ないところもある、ブログで子どもの様子をたくさんアップしていただけるとありがたいです。

学校ホームページをよく見ていただきありがとうございます。ホームページには、子どもたちの生活や学習の様子、学校行事の様子なども載せていますが、配布しました文書や、工事などのお知らせも載せています。先日の研究発表会では、このホームページの記事を見て、全国各地から多くの参観者が来校しました。情報発信の大切さを改めて痛感した一場面でもありました。ご指摘いただいた、学年によるへだたりについては、ご意見を真摯に受け止め、学年による隔たりが少なくなるよう心掛けてまいりたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

なお、学校からの情報発信は、学校ホームページに限ったことではありません。今年度春より、PTAメールによる学校の情報の配信も行っています。校外学習に出かけたときの子どもの様子をお伝えしたり、運動会などの進行状況をお知らせしたりもしてきました。校区の危険なことや気をつけたいことも発信するようにしていきたいと考えます。まだまだ、配信を始めたばかりですが、ぜひともご登録いただくことをお勧めしたいと思います。残念ながら、まだまだ登録されている方が少ないとお聞きしています。登録の仕方についてプリントを配布したり、メール登録相談会を行ったりもしています。ぜひご活用ください。また、PTA ホームページにつきましても、充実したものとなりますよう、PTA 役員の方々と協力して、力を尽くしていきたいと思います。こちらのほうもよろしくお願いします。

○ アンケートに関すること

集計の結果は公表されていますが、その後の内容が少ないような気がします。結果も次のステップで大事だと思いますが、「だからどうするのか」が明確にわかる公表を期待します。

質問のしかたがおかしい項目があります。もう一度確認して正しい質問の仕方をお願いします。

貴重なご意見をいただきありがとうございます。子ども達、保護者の皆様、教職員の声を反映できるような学校評価にできるよう、アンケート内容などをもう一度見つめなおしていきたいと思います。

また、アンケートの集計や分析結果は、この高雄だより臨時号をはじめ、ホームページでも公表しています。単に結果の集計だけにとどまらず、アンケート結果をどのように生かすのかを、読んでいただいたみなさんによくわかるように、発信していきたいと考えます。また、お気づきのことがあれば、学校までご意見やご感想をお寄せください。

○ 健やかな体に関すること

二年連続に冬に学級閉鎖となりました。予防接種はお金もかかるし任意のものですが、学校からも接種を進めてみてはどうでしょうか。風邪やインフルエンザは手洗いうがいだけで防げるものではありません。参観に行ったとき教室も寒いように思います。

体力の低下がみられると思います。冬の間だけでも風邪の予防などを含め、朝休みの時間にマラソンなどをしていただきたい。

風邪やインフルエンザの対策については、「手洗い・うがい・早寝早起きの励行」をはじめ、さまざまな取組を進めてきました。毎冬ごとに、風邪やインフルエンザのために学校をお休みする子が多くなり、また、その流行を最小限に食い止めるため、学級閉鎖などの措置を行ってまいりました。高雄小学校は、寒冷な山の中腹にあり、市内中心部に比べて気温が低く、子どもたちが寒い中に登校してくることが多くみられます。そこで、今年度から、子どもたちの登校時間に合わせてエアコンをつけたり、寒いときには時間に関係なく石油ストーブを使うようにしたりしてきました。また、教室の湿度を保つ工夫も行っています。今後も、子どもたちが元気良く学校生活を過ごせるように、取組を見つめなおしていきたいと思います。

マラソンについては、今年度初めて取り組んでみました。坂の多い校区なのでマラソン大会をするような取組はなかなかできませんでしたが、それでも、校内で中間マラソンや学年ごとの記録会を行うようにしたところ、一生懸命に走る子どもたちの様子が見られ、大変うれしく思っています。マラソンにもっと取り組んでほしいというお声があることは、私たちの今年度の試みに期待を寄せていただいたのだと感謝しています。来年度に向け、子どもたちにとって無理のない計画で、この取組をさらに充実させていきたいと思います。「走ることが楽しい」「自分に挑戦することが楽しい」と子どもたちが考えるようになる取組をこれから考えていきたいと思います。

○ 安全に関すること

毎日楽しく通学できていますが、一つ心配事があります。通学路です。どうしても登下校時の行き来が怖く、ガードレールの設置がないため不安です。今後も保護者による見守りを協力していきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

前述したとおり、保護者・地域一体となって子どもたちの安全な暮らしを守る取り組みをしていたき、本当にありがとうございます。しかしながら、保護者の皆様に下校ボランティアをお願いしていますが、お仕事の関係などで、なかなか参加していただけないのもまた事実です。来年度以降、子どもたちが、ゆったりと放課後の時間を過ごすことができるよういろいろとアイデアを練っていますが、やはり安全な下校をどのようにしていくのかについては、さらに考えていかなければならないところです。学校でできることは最大限にしながらも、保護者の皆様のご協力のもとに安全な学校づくりを進めていきたいと思います。どうぞご協力よろしくお願いします。